

奈良県外国人観光客交流館の あり方について

2025/07/18

01 第1回 奈良県外国人観光客交流館あり方検討委員会 総括

奈良県外国人観光客交流館の存廃について（各委員からの主な意見）

- ・ 財政制約の中で、施設運営が毎年赤字の状況にあるのは、合理的ではない。
- ・ 施設の収支が長年赤字となっている中で、安価な宿泊施設や観光案内所機能、文化体験機能を、今後も行政が現状のまま継続するべきではない。
- ・ 施設のバックヤードは老朽化の観点より、このまま維持することは厳しい。
- ・ 施設を解体し新たな機能を検討するべき。

⇒ **奈良県外国人観光客交流館運営委託契約終了（令和8年4月30日）をもって、当館を閉館する。**

01 第1回 奈良県外国人観光客交流館あり方検討委員会 総括（参考）

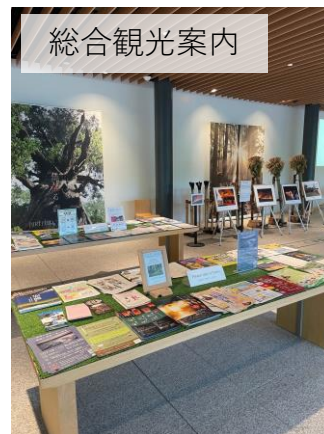
奈良県外国人観光客交流館の設置目的

奈良県を訪れる外国人観光客の交通、宿泊等の利便を図り、外国人観光客に対する接遇を向上することにより、奈良県における観光産業の振興等に寄与する

（奈良県外国人観光客交流館条例第一条より抜粋）

奈良公園バスターミナル ～国内外の観光客等に対応するためのゲートウェイ～

- ・ 奈良公園周辺の交通渋滞緩和
- ・ 奈良公園の魅力ある情報を発信
- ・ 奈良公園の来訪者へのおもてなし



類似の役割を果たしている奈良公園バスターミナルの活用を推進

- ・ インフォメーション機能の充実（鹿に関する情報提供を開始予定）
- ・ 観光客の交流機能の充実（奈良の魅力の一つである酒類等の提供を開始予定）

02 県有資産の有効活用について

①【県有資産の抱える問題】

- ・施設の多くが築後30年以上経過し、老朽化が進行し、**維持・管理コストが増大**
- ・小規模施設が散在し、運用状況が非効率
⇒施設の配置、存在意義の再検討が必要な施設が増加

②【資産の有効活用に向けた基本的な取組方針】

- ・限られた財政の中で、効率的な行政運営に資するため、資産の高度利用及び売却・貸付可能な資産の整理を進め、**資産のスリム化**に努める
- ・利用見込みのない資産は、適正な方法で**売却・貸付**し、地域の活性化に役立てるとともに**自主財源の確保**に努める

③【奈良県外国人観光客交流館の跡地活用】

- ・観光客へのサービス向上を公共サービスとして税金で運営することは、現状の赤字運営と同じ状況となるため慎重に考えるべき

03 閉館後の活用について

【事務局案】

1. 好立地にある奈良県外国人観光客交流館の場所を、遊休資産とならないよう存分に活用
2. 採算が十分に取れ、行政の負担が一切ない、民間運営
3. 奈良県観光課題「安い・浅い・狭い」の解決につながるもの
4. 地域交流につながるもの

